

平成 30 年度 本校の学校経営方針について

育むチカラ

《育む四つ葉のクローバー（4つのチカラ）～人生を幸せに生きるために～》

- (1) **【確かな学力】** 基本的な学習習慣を身につけ、主体的な学びを通して社会につながる学力を養い、希望の進路を実現する力
- (2) **【コミュニケーション力】** 豊かな人権感覚を持って違いを豊かさに捉える感性を育み、人とつながり、ともに高めあう仲間をつくる力
- (3) **【課題解決力】** 「答えのない問い」に真摯に向き合い、思考力・判断力・実践力を養い、未来を創造する力
- (4) **【地域貢献力】** 地域との連携や交流を通して、地域とつながり、地域の「人づくり・町づくり」に貢献する力

今年度の重点目標について

(1) 「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み



確かな学力を伸ばします

- ① 「考える」が中心の授業…各科目の目標は何か「なぜ学ぶか。」「学ぶことによって何が変わるか。」(生徒に明示)



《到達目標》**「学習した知識や技能を持って社会や世界とどうかかわって生きるか。」**

→ 「どのような関わりができるか」の答えを持ち、生徒にメッセージを発問し考えさせる。

「人とつながり、心豊かに生きるには、どんな感性を持って何を大切に生きて生きるか。」

→ 答えは一つに定まらない。自分の考えを持ち、さまざまな考え方や可能性を共に考える。

「主体的・対話的で深い学び」…「対話的」とは「自己への対話（考えること）」が重要。

「深い学び」とは「思考の外化」によって確立する。

*思考の外化…考えたことを言語や芸術にして表現すること。

- ② 「覚えたらできる」「解き方が分かればできる」といった基礎的な学習は自分でするもの（自ら学ぶ覚悟）

家庭学習の定着に向けた取組みと個々の学習課題に応じた学習支援を、教科・学年・分掌の協働によって進める。

(2) 「互いに高め合う集団」の育成



社会で人と繋がる力を養います

- *生徒指導の充実、規範意識の向上へ向けた取組みの推進
- *生徒が主体となる学校行事等の運営を通じた人と繋がる力の醸成
- *一人ひとりを大切にする人権尊重の教育の推進

(3) 「答えのない問い」に向き合う力の育成



未来を創造するリーダーを養成します

- *部活動の充実（アルバイト等への規制実施、加入率の増加、地域との交流）
- *読書活動の充実（「学期に1冊運動」の推進）

(4) 地域に根ざした学校づくり



地域と繋がり愛される学校をめざします

- *地域の小・中学校や保育園、幼稚園等との交流、生徒による出前授業の実施
- *地域のイベント等への積極的参加



平成 30 年 4 月 2 日

校長 中須賀 久尚